



作成日 2018年11月25日  
リビジョン番号: 1.0  
SDS番号: EZ-1811-001(J)

## 安全データシート

### 1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称 : 炭酸水素ナトリウム  
製品コード : EZB-MP  
会社名 : EZ Blust Japan株式会社  
住所 : 東京都江戸川区松島3-42-8  
電話番号 : 0120-139-639  
ファックス番号 : 0299-24-2406  
電子メールアドレス : info@ezblust.com  
緊急連絡電話番号 : 0299-56-2040  
推奨用途 : 一般工業品、洗浄剤

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 該当区分なし

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名又は一般名 : 炭酸水素ナトリウム  
別名 : 重曹、ベーキングパウダー、重炭酸ナトリウム、重炭酸ソーダ、メイロン  
(英名)Sodium hydrogen carbonate, Sodium bicarbonate, Carbonic acid hydrogen sodium  
: salt, Meylon, Sodium hydrogencarbonate(EC名称), Carbonic acid sodium salt (1:1)  
(TSCA名称)  
濃度又は濃度範囲 : 99.0%以上  
化学式(分子量) : CHNaO3、NaHCO3 (84.01)  
官報公示整理番号(化審法) : (1)-164  
CAS番号 : 144-55-8  
EC番号 : 205-633-8  
分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。  
皮膚に付着した場合 : 接触した身体部位を水と石鹸で洗うこと。  
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。  
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報なし  
応急措置をする者の保護 : 情報なし  
医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

### 5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しない。  
周辺設備に適した消火剤を使用する。  
使ってはならない消火剤 : 特になし  
特有の危険有害性 : 特になし  
特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
関係者以外は安全な場所に退去させる。  
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 密閉された場所に立入る前に換気する。また、回収が終わるまで十分な換気を行う。  
関係者以外は近づけない。  
適切な保護具を着用する。  
環境に対する注意事項 : 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に大量に漏洩しないように注意する。環境への影響を起こさないように注  
意する。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 回収・中和 : 漏洩物を掃き集めて密封できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。回収跡は大量の水で洗  
い流す。  
封じ込め及び浄化方法・機材 : 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	: 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。
	局所排気・全体換気	: 必要に応じて、局所排気又は全体換気を行なう。
	安全取扱い注意事項	: 粉じん、蒸気、ミスの吸入を避けること。 飲み込みを避けること。 眼、皮膚との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	安全な保管条件	: 直射日光を避け、換気の良い場所で容器を密閉して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		: 未設定
許容濃度	日本産衛学会、ACGIH	: 未設定
設備対策		: 適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備、手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具	: 防塵マスク、自給式呼吸器(火災時)を着用すること。
	手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	: 保護眼鏡(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态		
形状		: 結晶性粉末
色		: 白色
臭い		: 無臭
pH		: pH=8.3 (10g/L水溶液)
融点・凝固点		: 情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		: 情報なし
引火点		: 情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		: 情報なし
燃焼性(固体、気体)		: 情報なし
燃焼又は爆発範囲		: 情報なし
蒸気圧		: 情報なし
蒸気密度		: 情報なし
比重(相対密度)		: 情報なし
溶解度		: 水: 9 g/100ml (20℃) エタノールにほとんど解けない
n-オクタノール/水分分配係数		: 情報なし
粘度(粘性率)		: 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性		: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
化学的安定性		: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性		: 水溶液は弱アルカリ性である。酸と反応する。
避けるべき条件		: 酸類との接触、混合。
混触危険物質		: 酸類
危険有害な分解生成物		: 炭酸ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	: ラットのLD50値として、> 4,000 mg/kg、7,334 mg/kg、4,220-8,290 mg/kg の報告 (SIDS (2004)) に基づき、区分外とした。
	経皮	: ラットのLD50値として、> 2,000 mg/kg の報告 (農業工業会 (1996)) に基づき、区分外とした。
	吸入: 粉じん及びミスト	: ラットのLC50値として、> 4.74 mg/L (4.5時間) (4時間換算値: 5.33 mg/L) の報告 (SIDS (2004)) に基づき、区分外とした。なお、試験実施方法の記載から粉じんによる試験とみなして mg/L を単位とする基準値を適用した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		: ウサギを用いたテストガイドラインに準拠した試験において極めて軽度の刺激 (皮膚一次刺激性スコア=0.3) との結果 (SIDS (2004)) に基づき区分外 (国連分類基準の区分3) とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		: SIDS (2004) に5例のデータが報告されており、信頼性の高いEPA TSCAガイドラインに準拠した試験で24時間後のスコア値 (MMTS) が8.3 (わずかな刺激性) との報告があることから区分外 (国連分類基準の区分3) とした。
呼吸器感受性		: データ不足のため分類できない。
皮膚感受性		: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		: データ不足のため分類できない。
発がん性		: データ不足のため分類できない。
生殖毒性		: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露、反復ばく露)		: データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性		: データ不足のため分類できない。

**1 2. 環境影響情報**

生態毒性	水生環境有害性（急性）	: 甲殻類(ニセネコゼミジコ)の48時間EC50 = 1020mg/L(SIDS, 2004)、魚類(ニジマス)の96時間LC50 = 7700mg/L(SIDS, 2004)から区分外とした。
	水生環境有害性（長期間）	: 慢性毒性データを用いた場合、無機化合物につき水中での挙動が不明であるが、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC（繁殖、生存）> 576mg/L(SIDS,2004)であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、無機化合物につき水中での挙動が不明であるが、魚類(ニジマス)の96時間LC50 = 7700mg/L(SIDS, 2004)であることから、区分外となる。以上の結果から、区分外とした。
	オゾン層への有害性	: 情報なし

**1 3. 廃棄上の注意**

残余廃棄物	: 内容物を国/地方自治体の規則に従って廃棄すること。 可能な限り廃棄の前に中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。 (参考) 中和法: 水に溶解して、酸で中和し、大量の水と共に排水処分する。中和時に炭酸ガスが発生することがあるので注意すること。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**1 4. 輸送上の注意**

国際規制、国連番号、国内規制	: 特段の規制なし。該当しない。
特別安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

**1 5. 適用法令**

外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項 HS code:2836.30-0000
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化審法	: 該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法)	: 該当しない
労働安全衛生法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
水道法	: 有害物質、水質基準

**1 6. その他の情報**

REACH登録におけるECHA	: 危険有害性分類されていない
米国TSCA	: 適用されない（規制されていない）
参考文献	: 国際化学物質安全性カード(I C S C) : 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) HP : GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP : Chemical Book HP

**責任の限定について**

本記載内容は、入手できた資料、情報データ、知見に基づいて作成しており、必ずしも十分ではありません。法令の改正及び新しい知見によって改訂される事があります。安全データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。また、記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。取扱いには十分注意して下さい。